

平成 30 年 1 月 10 日 清掃主管課長会
平成 30 年 1 月 15 日 清掃主管部長会
平成 30 年 1 月 16 日 一組評議会
平成 30 年 1 月 18 日 一組議会全員協議会

一般廃棄物処理基本計画における清掃工場の整備スケジュールの変更について

東京オリンピック・パラリンピック大会開催による中央清掃工場の稼働停止及び光が丘清掃工場、目黒清掃工場の整備工事期間変更により、平成 32 年度、平成 34 年度における可燃ごみの焼却処理が厳しくなることから、以下のとおり対応します。

1 現在までに確定している事項

(1) 中央清掃工場の稼働停止

平成 32 年度の東京オリンピック・パラリンピック大会開催及び定期補修工事により約 6 か月間稼働を停止します。

(2) 光が丘清掃工場の整備工事期間

解体時における全覆いテントの使用で、当初計画より 3.5 か月の工期が必要となり、しゅん工時期は平成 32 年度末になります。

(3) 目黒清掃工場の整備工事期間

解体時における全覆いテントの使用及び高さ制限による地下掘削の増加で、当初計画より 10.5 か月が必要となり、しゅん工時期は平成 34 年度末になります。

2 今後の対応事項

(1) 江戸川清掃工場の整備工事開始時期の変更

平成 32 年度当初を予定していた整備工事開始時期を中央清掃工場の稼働停止期間終了後とします。なお、しゅん工時期は、解体時における全覆いテントの使用及び敷地地盤嵩上げで、当初計画より 19 か月の工期が必要となり、平成 39 年度となる見込みです。

(2) 港清掃工場の延命化工事の変更

平成 32 年度から各年度 1 炉ずつ予定していた工事を 1 年目（平成 32 年度）は建築設備のみの工事としてごみの焼却を行い、2 年目（平成 33 年度）に焼却炉 2 炉、3 年目（平成 34 年度）に残りの 1 炉を実施します。

(3) 北清掃工場の整備工事開始時期の変更

平成 34 年度当初を予定していた整備工事開始時期を年度後半とします。なお、しゅん工時期は、高さ制限による地下掘削増加により平成 40 年度となる見込みです。

3 詳細時期の決定

各対応事項の詳細な時期については、関係各区と調整のうえ決定します。

一般廃棄物処理基本計画における清掃工場の施設整備スケジュールの変更について

1 現施設整備スケジュール

工場名	現行規模	しゅん工 年月	計画期間																
			27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	31 年度 (2019)	32 年度 (2020)	33 年度 (2021)	34 年度 (2022)	35 年度 (2023)	36 年度 (2024)	37 年度 (2025)	38 年度 (2026)	39 年度 (2027)	40 年度 (2028)	41 年度 (2029)		
大田	300t×2炉	H26.9																	
練馬	250t×2炉	H27.11	■	■															
杉並	300t×2炉	H29.9	■	■	■														
光が丘	150t×2炉	H33.3予定																	
目黒	300t×2炉	H35.3予定																	
有明	200t×2炉	H7.12																	
千歳	600t×1炉	H8.3																	
江戸川	300t×2炉	H9.1																	
墨田	600t×1炉	H10.1																	
北	600t×1炉	H10.3																	
新江東	600t×3炉	H10.9																	
港	300t×3炉	H11.1																	
豊島	200t×2炉	H11.6																	
中央	300t×2炉	H13.7																	
渋谷	200t×1炉	H13.7																	
板橋	300t×2炉	H14.11																	
多摩川	150t×2炉	H15.6																	
足立	350t×2炉	H17.3																	
品川	300t×2炉	H18.3																	
葛飾	250t×2炉	H18.12																	
世田谷	150t×2炉	H20.3																	
破砕処理	180t×1炉	H4.7																	
			休止 (既存建物の活用を検討)																

	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
		焼却処理能力(万t)	330	323	315	321	321	296	311	295	306	305	320	321	319	303
清掃工場処理量(万t) (※1)	272	270	270	270	270	273	272	272	272	272	272	272	272	272	272	
焼却余力(%) (※2)	21.1	19.7	16.6	18.9	18.7	8.4	14.2	8.3	12.4	11.9	17.6	17.8	17.2	11.1	11.1	

2 対応後の施設整備スケジュール

工場名	現行規模	しゅん工 年月	計画期間																
			27 年度 (2015)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	31 年度 (2019)	32 年度 (2020)	33 年度 (2021)	34 年度 (2022)	35 年度 (2023)	36 年度 (2024)	37 年度 (2025)	38 年度 (2026)	39 年度 (2027)	40 年度 (2028)	41 年度 (2029)		
大田	300t×2炉	H26.9																	
練馬	250t×2炉	H27.11	■	■															
杉並	300t×2炉	H29.9	■	■	■														
光が丘	150t×2炉	H33.3予定																	
目黒	300t×2炉	H35.3予定																	
有明	200t×2炉	H7.12																	
千歳	600t×1炉	H8.3																	
江戸川	300t×2炉	H9.1																	
墨田	600t×1炉	H10.1																	
北	600t×1炉	H10.3																	
新江東	600t×3炉	H10.9																	
港	300t×3炉	H11.1																	
豊島	200t×2炉	H11.6																	
中央	300t×2炉	H13.7																	
渋谷	200t×1炉	H13.7																	
板橋	300t×2炉	H14.11																	
多摩川	150t×2炉	H15.6																	
足立	350t×2炉	H17.3																	
品川	300t×2炉	H18.3																	
葛飾	250t×2炉	H18.12																	
世田谷	150t×2炉	H20.3																	
破砕処理	180t×1炉	H4.7																	
			休止 (既存建物の活用を検討)																

	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41
		焼却処理能力(万t)	330	323	315	321	321	306	307	310	306	305	305	304	298	294
清掃工場処理量(万t) (※1)	272	270	270	270	270	273	272	272	272	272	272	272	272	272	272	
焼却余力(%) (※2)	21.1	19.7	16.6	18.9	18.7	12.1	12.7	13.8	12.4	11.9	12.0	11.5	9.5	8.0	11.1	



凡例 ■: 当初計画 ■: 当初計画からの延長分 ■: 延命化工事期間 ■: オリンピック・パラリンピック大会等による停止期間

※1 清掃工場処理量は、平成27、28年度は実績値とし、29年度以降は平成28年度を基本にして予測した。

※2 焼却余力は、焼却処理能力（全工場の焼却処理能力合計）と清掃工場処理量の差を余力分として百分率で表したものである。必要な焼却余力は、ごみの季節変動に対応するため、12%以上としている。